

コロナウイルス感染症 (COVID-19)とペット

最近の更新

11/6/20：感染経路に関する内容が更新されました。

1. コロナウイルスとは何ですか？

コロナウイルスの種類にはヒトと動物に病気を引き起こすものが多数あります。こうしたウイルスはすべて異なる種類のもので、それぞれにほとんど関連はありません。コロナウイルスによるヒトへの病状は、普通の風邪のように軽度の上気道疾患で留まるものや、SARSやMERSのように重篤な病気を引き起こすものもあります。動物ではコロナウイルスによる症状は動物の種類やコロナウイルスの種類によって異なり、呼吸器疾患や下痢などの症状が見られます。今のところ、コロナウイルスがペットからヒトへ感染した事例は確認されていません。

2. COVID-19とは何ですか？

コロナウイルスには、動物に感染するものがヒトに感染するものへと変異（変化）し、ヒトからヒトへと拡散するものがあります。これがSARS-CoV-2として知られる新型コロナウイルスで起こり、ヒトにおけるCOVID-19と呼ばれる病気を引き起こしています。

3. COVID-19はどのようにして人間に拡散しますか？

インフルエンザのような他の気管支系の病気と同様、ヒトに感染するコロナウイルスは、一般的に以下のような経路で感染者から他者へと拡散します。

- 咳、くしゃみ、および話をする際に出される飛沫
- 感染者のお世話をするなどの個人的な濃厚接触
- COVID-19は、ウイルスが付着している物の表面や物体に触れてから、口、鼻、または目に触れることによっても拡散する可能性があります。これがウイルスの主要な拡散経路とは考えられていません。COVID-19に感染していても自覚症状のない人が、他者に感染を広げる可能性があります。

4. ペットが COVID-19にかかり拡散させる可能性はありますか？

これまでに米国では、主にCOVID-19の人々と濃厚接触をした後に、COVID-19の陽性反応が出た動物の報告がいくつかあります。状況によっては、ウイルスが人から動物に拡散する可能性があるようです。しかしながら、人間や飼い主がペットからCOVID-19に感染したという報告はありません。現時点では、イヌやネコを含むペットがCOVID-19を人間に拡散させるという証拠はありません。

5. ペットを飼っている人はどうすればいいですか？

ペットのCOVID-19感染へのリスクは低いですが、動物に病気を引き起こし、その動物からヒトへ広がる他の疾病があります。このため、動物の近くにいた後は必ず手を洗うことが良策です。家庭での準備計画にはペットも含めてください。



重要なメッセージ

ペットがCOVID-19を拡散するという証拠はありません。

しかし、ペットは他の病気を人に広める可能性があるため、ペットに接した後は手を洗ってください。

良い衛生管理と獣医による診療を受けることは、常にペットと人々の健康維持に役立ちます。

詳細情報はどこで入手できますか？

ロサンゼルス郡公衆衛生局
2-1-1までお電話ください

カリフォルニア州公衆衛生局
916-558-1784

アメリカ疾病予防管理センター
800-CDC-INFO
800-232-4636

コロナウイルス感染症 (COVID-19)

6. 私はCOVID-19に罹患し、ペットや他の動物を飼っています。どうしたらいいですか？

COVID-19に罹患している間は、人に対するのと同様に、ペットや他の動物との接触を制限する必要があります。可能であれば、罹患中は家族の方に動物の世話をお願いしてください。ご自身が病気の際は、撫でる、すり寄る、キスされる、舐められる、食べ物を共有するなど、ペットとの接触を避けてください。病気のときにペットの世話や、動物の周りにはいる必要がある場合は、ペットと接触する前後に手を洗い、マスクやフェイスカバーを着用してください。また、ご自宅に動物がいることを公衆衛生局の担当者に報告してください。

7. 検疫または隔離中に犬の散歩はできますか？

いいえ。体調が悪く、COVID-19感染のために隔離されている場合、またはCOVID-19への曝露したために14日間の検疫下に置かれている場合、その期間中は外出できません。その間、犬の散歩はご家族の方にしてもらうか、または、他の人に依頼する、人を雇うなどしてください。犬を散歩に連れて行くために人が訪れるときは、お互いフェイスカバーを着用し、なるべく6フィート以上離れるようにしてください。犬を預ける前後で手を洗いましょう。散歩代行にはその方の鎖を使用してもらうことを検討してください。

8. ペットを獣医に連れて行く必要があります。社会的距離を保つにはどうすればいいですか？

かかりつけの獣医師は社会的距離を保つために、運営の仕方を調整しているかもしれません。場合により、獣医師は手術や診察をキャンセルまたは変更する必要があります。例えば、クリニックの外で飼い主に待ってもらい、車内で動物の診察を行う、遠隔医療に予約を切り替えるなどが考えられます。動物病院のスタッフと接触するときは、フェイスカバーを着用してください。すべての医療従事者は今多くの課題に直面しています。獣医師に事前に連絡し共に協力して、その方達やご自身の健康、および動物の健康を守るために最良の方法を検討してください。ご自身が病気でペットが獣医師の診察を必要とする場合、他の人がペットを動物病院に連れて行くよう手配し、事前に適切な準備ができるよう、ペットが到着する前に施設に連絡してください。

ペットや家族の健康を多くの病気から守る簡単な方法がいくつかあります。

- ペットのかかりつけの獣医師と良好な関係を築く。
- ペットの予防接種を継続し、ノミとダニ対策を行う。
- ペットや、ペットの寝具、おもちゃ、お皿に触れた後は手を洗う。
- 体調が悪い時は、他の人やペットから距離をとって、こまめに手を洗う。
- ペットの具合が悪くなった時は獣医師に連絡する。体調が良くなるまで他のペットから遠ざける。ペットの世話をした後は、その都度手を洗う。